

# 病害虫発生予察地区報 第7号

—— 地区注意報 ——

病害虫名：タマネギべと病

## 1 情報の内容

タマネギべと病の発生が多く、今後多発する恐れがある。

## 2 対象地域

中信地域のタマネギほ場

## 3 根拠

- (1) 本年は暖冬傾向であったことから、昨年以上に生育が進んでおり、中信地域のタマネギほ場における3月中旬の巡回調査でべと病の発病株率が高かった。
- (2) 向こう一カ月の気象予報(3月18日気象庁発表)では、高温傾向が予測されており、今後さらにべと病の発生が拡大する危険性が高いと考えられる。

表1 3月中下旬調査におけるタマネギべと病の生育ステージと発病株率

地域	令和3年		令和2年		平成31年	
	生育(葉)	発病株率(%)	生育(葉)	発病株率(%)	生育(葉)	発病株率(%)
中信	3.5~4.5	15.6	3.5~4.5	0.6	2	0
北信	3.5~4.0	0	3.5	0	1.5	0

## 4 防除対策

- (1) タマネギの生育が進んでおり、今後もべと病発生の好適条件が続くと予測されるので、早めの防除を徹底する。
- (2) 昨年べと病の発生が見られたほ場では、本年も発生する危険性が高いので特に注意し、早期発見と罹病株の抜き取りを徹底する。
- (3) 抜き取った株はほ場に放置せず、ほ場外に持ち出して埋設する等適切に処分し、早急に薬剤散布を行う。
- (4) 薬剤散布にあたっては、FRACコード等を活用し、同一系統の薬剤散布による感受性低下を避けるようにする。(農薬工業会ホームページ<https://www.jcpa.or.jp/lab0/mechanism.html>を参照)。



タマネギべと病 (3月16日)

長野県病害虫防除所 中中信担当  
塩川正則 (所長)  
岩崎和之 (次長) 水谷俊英 (担当)  
TEL : 0263-53-5642  
FAX : 0263-54-4508  
E-mail bojo-y@pref.nagano.lg.jp